

(小論文1日目)

問題用紙

次の文章は、ある悩み相談の内容である。これを読んで後の問い合わせに答えなさい。

都内在住、22歳の男子大学生です。

相談というのは両親との接し方についてです。幼少期に私の両親、そして両親と祖父母（主に嫁・姑）は大変仲が悪く、誰かが家の中で言い争いをしていることは日常茶飯事で、私は常に不安を感じていました。祖父母、両親が離れて暮らすようになった後も家庭内の諍い^{いさぎ}は収まらず、両親は私が中学生の頃、別居状態でした。

家の中は常にピリピリした雰囲気で、その不機嫌は一家の中で一番弱い立場にあった私にぶつけられることがしばしばありました。ちょっとした落ち度に対して二人の姉から執拗に追及されたり、両親からは否定的な言葉を投げかけられ、安らげる瞬間がほとんどありませんでした。人格形成を全て、環境のせいにはできませんが、人の顔色を必要以上に窺うような性格になったように感じられ、自尊感情も上手く育てられなかったように思います。

私は少年野球を一生懸命にやっていましたが、京都大学出身の父は、私を中高一貫の進学校に進めるため、塾に通わせました。そこで思ったように上がらない私の成績に腹を立て、「お前は野球をやっているから頭が悪いのだ」とまた、否定的な言葉を絶えず投げつけるようになり、結局やめることになりました。中学受験に成功し、中学に入り、また大好きな野球を部活で続けられていきましたが、成績が悪くなるとまた厳しく叱られるようになり、小学校時代の嫌な記憶がありましたので、今度は自分から野球をやめました。成績の低下を理由に携帯電話を取り上げられ、周囲の友人とはどんどん疎遠になっていきました。また、野球をやめた頃から体調が常に悪くなり、現在までずっと悩まされています。過去の嫌な記憶、自身に対する否定的な思いも拭い去れないままです。

よくあるトラウマ語りの様な話ですが、その両親が、私が彼らの元から逃れるために、東京の大学に進学をした頃から「仲良く」しようとしてくるのです。「文化系トークラジオ Life」というラジオ番組で、「無理やり家族っぽいことをしてこようとする」「ファミハラ」（ファミリー・ハラスメント）と呼ばうぜ」というメールが読まれていましたが、まさにそんな感じです。

母親は私に姑の悪口を散々聞かせていたくせに、「おばあちゃんを大事にしなさい」などと言って、祖母に会わせようとしてきます。父親は「進路のことで悩みがあれば、相談しなさい」「台風が東京にいっているようですが、大丈夫ですか？」「夏休みに帰ってきたら信州の山にトレッキングに行きましょう」とメールをしてきます。このようなメールを見るたび、両親の身勝手さに戦慄、驚愕し、「なにを今更」とはらわた^{はらわた}が煮え繰り返る思いです。

私はこの両親にどう対応するのが良いのでしょうか？

國分功一郎『哲学の先生と人生の話をしよう』

問い合わせ：あなたならこの悩み相談者にどのようなアドバイスをしますか。600字以内で記述してください。

(小論文2日目)

問題用紙

次の文章を読んで後の問い合わせに答えなさい。

ジルはジャックを愛している。ジャックはジルを愛している。ジルはジャックがジルを愛していることを知っている。ジャックはジルがジャックを愛していることを知っている。だがジャックは、ジルが自分を愛しているかどうかは自分にとってどうでもいいことだといったとする。彼が彼女を愛しているという、そのことだけが重要なのだと。ジルは一体どう感じるだろうか。

R.D.レイン『自己と他者』より引用

問い合わせ：ジルは一体どう感じるとあなたは思いますか。またその理由は何ですか。これら二つから説き起こし、今後二人の関係はどうなっていくかについて、あなたなりの未来予想図を600字以内で自由に創作してください。